

ヴァイオリン公開レッスン
Violin Masterclass

サイモン・ブレンディス
Simon Blendis



PROGRAM

1. Lecture Concert

～巨匠が演奏した軽音楽～

Pianist&Interpreter: Saoko Blendis

2. Masterclass

Shina Yamamoto (Junior year)

B. Bartók: Violin Concerto No. 2

I. Allegro non troppo

Kae Tanimura (Senior year)

J. S. Bach: Sonatas for Solo Violin No.1
in G minor 「Fuga」

問い合わせ先：国際交流センター
study_abroad@tokyo-ondai.ac.jp

12月21日(水)
18:10～

Tokyo College of Music
Naka-Meguro Campus
C301

サイモン・ブレンディスは室内楽、ソリスト、オーケストラのリーダーとして国際的なキャリアを積み、1995年から2018年までシューベルト・アンサンブルのヴァイオリニストとして20枚以上のCDを録音。BBCラジオ3や、ウィグモアホール、コンセルトヘボウなどヨーロッパの主要劇場にも定期的に出演し、1999年には権威あるロイヤル・フィルハーモニー協会賞を受賞。アンサンブルと並行して1999年からはオーケストラ・アンサンブル金沢の第1コンサートマスターに就任。2014年には英国最古の室内楽団であるロンドン・モーツァルト・プレイヤーズのコンサートマスターに就任している。またゲスト・コンサートマスターとしてもイギリスの主要オーケストラに加え、スペイン国立管弦楽団やマラー室内管弦楽団など海外のオーケストラにも客演する。現代音楽の熱心な牽引者であり、タンシー・デイヴィス、スチュアート・マクレー、ジョン・ウールリッチ、そしてジャズ界の伝説的人物デイヴ・ブルーバックの作品など初演数は50回を超える。またデイヴィッド・ノッツとジェフ・ムーアよりヴァイオリン協奏曲を献上されている。ソリストとして、フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、イギリス室内管弦楽団、セント・マーチン・イン・ザ・フィールズ・アカデミー管弦楽団、ボーンマス交響楽団、バーミンガム・コンテンポラリー・ミュージック・グループなどと共演。日本ではオーケストラ・アンサンブル金沢とヴィヴァルディの「四季」をワーナー・ジャパンのレーベルで録音している。現在ギルドホール音楽演劇学校のヴァイオリン教授。